

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	33	—	4	事務事業名	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	細事務事業名	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	公的関与	5	シート作成日	平成30年6月15日	
課名	介護高齢課			グループ	高齢福祉		担当課長名	藤井清和		シート作成者名	田畑由美子	
事業区分	● 1 ソフト事業		○ 3 整備事業		○ 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	
	○ 2 施設の建設		○ 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画		事業の開始・終了				
	施策項目	高齢者支援の充実				● 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
	主要施策	高齢者福祉サービス等の提供				○ 2 非該当		根拠法令等		弥富市高齢者等福祉タクシー料金助成要綱		
個別計画	介護保険事業計画・高齢者福祉計画											
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)							
	○市内に住所を有する在宅の者で、介護認定による要支援1～要介護5該当者及び基本チェックリスト該当者(※ただし、心身障害者福祉タクシー料金の助成を受けている方及び自動車税または軽自動車税の減免を受けている方を除く。)				○バス等の一般交通機関を利用することの困難な在宅の高齢者に対し、居宅と医療機関等との移動手段として、タクシーを利用することにより外出を支援し、福祉の向上を図ります。							
事業の内容	○要介護等の認定を受けた高齢者や基本チェックリスト該当者が外出時にタクシーを利用する場合に限り、料金の基本料金及び迎車料金を助成します。利用方法は、利用者にチケット年間24枚(平成30年度から12枚の追加交付有)を交付し、利用者は乗車時にタクシーの運転手にチケットを渡します。											
成果指標	①	指標名	チケット交付者数				②	指標名				
		指標設定の考え方	要介護認定者に対するサービスであることから、本事業の指標設定を年度末における利用者(チケット交付者)数としました。					指標設定の考え方				
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度		
	実績	646	実績 701	目標 ※	目標 900	実績		実績	目標 ※	目標		
	目標	800	目標 850	目標 ※	目標 900	目標		目標	目標 ※	目標		
予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	3 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費		
直接事業費			平成 28 年度決算額			平成 29 年度決算額			平成 30 年度予算額			
	国・県支出金			千円			千円			千円		
	地方債			千円			千円			千円		
	その他特定財源			千円			千円			20 千円		
	一般財源			5,029 千円			4,854 千円			7,283 千円		
	計(A)			5,029 千円			4,854 千円			7,303 千円		
人件費(B)	正職員工数・経費			0.059 人			0.059 人			0.059 人		
	臨時職員工数・経費	0.020 人			32 千円	0.100 人			160 千円	0.100 人		
	全体事業費(A+B)			5,468 千円			5,421 千円			7,870 千円		

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価				
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	支援の必要な高齢者等からのニーズも高いことから継続は必要と考えます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	車の運転ができない、歩行が困難等の高齢者にとっては、重要度の高いサービス事業です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。				<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		本年度よりチケットを使い切った人に対して12枚の追加交付を行うことにしたので、チケットの利用枚数が増加し、利用者は満足されていると思われます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。				<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。				<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。				<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	ドアツウドアのタクシーは、足腰が不自由な高齢者や要支援・要介護高齢者にとって、医療機関への通院には大変便利です。現在の状況は効率性の面でも、一部負担金の面でも利用者 に支持されていると考えています。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	利用者の拡大を図るため事業のPRに努める必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)							
課題解決のための改善計画	近隣市町村の事業を参考にして、臨機応変に対応できるよう事業者と調整する必要があります。					要介護及び要支援認定者の方の利便性を図る施策として、有効な方法であると考えます。								
備考														